



# 「オホーツク管内専門家チーム巡回相談」 の御案内



幼児児童生徒の指導や支援について、先生方が悩んでいること、困っていることはありませんか？今後の、よりよい指導や支援の在り方を一緒に考えてみましょう。

## 1 巡回相談の目的

幼児教育施設、小・中・義務教育学校及び高等学校からの申し出に応じて、市町村特別支援連携協議会及び市町村教育委員会等と連携を図り、巡回相談を実施し、発達障がい等の状況の把握や、望ましい教育的対応に関する指導助言を行うことを通して、管内の特別支援教育の充実を図ります。  
※相談は無料で、個人情報等の秘密は厳守します。

## 2 巡回相談の対象

- 通常の学級に在籍する、発達障がいやその疑いがあると思われる幼児児童生徒
- 特別支援学級に在籍する児童生徒
- その他、特別な教育的支援が必要と思われる幼児児童生徒



## 3 巡回相談員の構成

各校種・職種における専門家で構成する専門家チームのうち、次の巡回相談員が相談に伺います。  
なお、巡回相談の内容については、必要に応じて、医療の専門家を加えた専門家チーム内で、後日協議します。

校種、職種	巡回相談員		
特別支援学校	北海道紋別高等養護学校 教諭 嶋津全理	北海道北見支援学校 教諭 佐々木正祐	北海道紋別養護学校 教諭 坂根憂一
	北海道紋別養護学校ひまわり学園分校 教諭 水野遥	北海道網走養護学校 教諭 佐藤佳奈子	
教育局	義務教育指導班（特別支援教育チーム付） 主任指導主事 高橋利典		※巡回相談には、基本的に高橋指導主事が訪問します。
保健	網走市こども発達支援センター 鬼塚裕美	福祉	広域相談サロンくらしネット オホーツク 地域づくりコーディネーター 佐藤直美

### 障がいの有無に関係なく、こんなことで悩んではいませんか？

- ◇ 教科書を読む時に、行をとばしたり、単語を言い換えたりして読んでしまう。
- ◇ ノートを書く時に、他の子に比べてとても時間がかかってしまう。
- ◇ 順番が待てずに、他の人の学習をじゃましてしまう。
- ◇ 授業中、たびたび座席を離れて立ち歩いてしまう。
- ◇ 授業中、突発的に関係のない話をしてしまう。
- ◇ はじめて特別支援学級の担任になったけど、指導や支援の方法に悩んでいる。 など



**【問合せ先】** オホーツク教育局義務教育指導班（0152-41-0757）

○ 巡回相談の申込みの手順や要請書等の様式につきましては、オホーツク教育局のWebページに掲載しています。